

平成30年度地方大学・地域産業創生交付金の交付対象事業として 徳島大学が参画する徳島県の計画が採択されました。

このたび、地方大学・地域産業創生交付金の交付対象事業として、徳島大学が参画する徳島県の「次世代「光」創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」が採択されました。

この交付金は、地方を担う若者が大幅に減少する中、地域の人材への投資を通じて地域の生産性の向上を目指すことが重要であり、「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」に基づく交付金として、首長のリーダーシップの下、産学官連携により地域の中核的産業の振興や専門人材育成などを行う優れた取組を重点的に支援し、これにより、日本全国や世界中から学生が集まるような「キラリと光る地方大学づくり」を進め、地域にお

ける若者の修学・就業を促進することを目的に創設されました。徳島県の計画では、徳島大学等が有する地域の優位性を活かした光関連産業の振興と専門人材育成などに産学官連携で取り組み、可視・近赤外光だけでなく次に実用化が期待される「新しい光」を学び「夢のある未来社会」の創出を夢見る学生が日本全国や世界中から集まる「キラリと光る徳島大学」の実現を目指しています。

徳島大学では、クラウドファンディングやフューチャーセンターなど、全国初の先進的な取組や改革を行ってきた実績があります。「キラリと光る徳島大学」の実現に向けて、徳島県の中核的産業である光関連産業に貢献するべく、徳島大学の強みである光科学分野を更に強化し、総合医科学

分野等への応用・展開を進める組織改革を検討してきました。この計画では、「新しい光の創出と応用」をテーマに、次世代光（深紫外、テラヘルツ、赤外光コム）を中核とした光源開発と医光融合等を通じた応用・製品開発で、世界トッ



9月15日 「未来博士3分間コンペティション2018」において本学大学院生が発表



本学からの参加者。

未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会主催による「未来博士3分間コンペティション2018」が、東広島市の「東広島芸術文化ホール」から大ホールにおいて開催されました。本学からは、学内選考会を経て7名の大学院生が参加し、自身の研究のビジョン等について熱く語りました。大会終了後、表彰式が行われ、本学の参加者から1名が、英語部門で優秀賞を授与されました。

9月25日 JR四国主催の旅行企画コンペで本学学生による旅行企画案が入賞

香川大学オリブスクエア（高松市）で開催された「四国4国立大学とJR四国連携事業、地域観光チャレンジ、第1回成果発表会」において、本学総合科学部の学生による旅行企画2件が、銅賞を受賞しました。本学は平成29年に締結された「四国4国立大学とJR四国の連携協力に関する協定」に基づき、四国の地域活性化に資する地域振興・観光振興・人材育成にむけた支援を行っています。



にし阿波日帰り鍛冶体験ツアー。



自家製ソーセージの旅 with ソーセージ職人・横山氏。

10月11日・12月2日 徳島大学同窓会連合会交流会(びざんき・関東地区徳島大学同窓会連合会交流会(関東びざんき)を開催



関東びざん会。



びざん会。

10月11日(木)、徳島市のザ・グランドパレスにおいて、徳島大学同窓会連合会交流会(びざんき)を開催しました。野地学長から徳島大学の近況報告とともに、徳島大学創立70周年をPRするために作られた大学のマスコットキャラクター「とくぼん」の紹介が行われ、とくぼんが登場すると、会場は大いに盛り上がりました。また、12月2日(日)には、アリスアクアガーデン田町店(東京)において、関東地区徳島大学同窓会連合会交流会(関東びざんき)を開催しました。

レベルの教育研究拠点を構築するとともに、医光融合人材の育成や企業ニーズを踏まえたリカレント教育など、光応用専門人材の創出を担うことにしています。このような取組を通じて、産学官金の密接な連携の下、徳島の強

みである光関連分野の研究力や技術水準、人材育成の強化を図ることと、国内外で「光科学を学ぶなら徳島」と認知され、光を目指して若者が集う徳島の現実に貢献していきたいと考えています。

徳島県「次世代「光」創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」

計画のポイント

- 世界有数のLEDメーカーが立地し、「LEDハレイ構想」により集積するLED関連企業との連携
- 徳島大学「ポストLEDフォトリソ研究所」において、ポストLED(深紫外・テラヘルツ・赤外光コム)を中核とした研究・開発を実施
- 大学・地域企業等と連携し、「光応用専門人材」を育成することにより、次世代LEDを社会実装・市場拡大

事業内容

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む「好循環」の確立！！

光応用専門人材の育成

企業が求める即戦力人材

次世代光科学研究拠点「ポストLEDフォトリソ研究所」設置

- ポストLEDに関する光源開発・応用研究
- 光科学に関するトップレベル研究者を招へい
- 分科型大学院「創成科学研究科」を創設
- 他分野の学生も光科学を専攻可能となり、様々な分野で光科学を活用できる人材を育成
- 医光融合やリカレント教育等による光応用専門人材を育成
- 地方ふるさと大学づくりで産学官連携を呼び込む！

産学官連携による「社会実装支援」

- 産学官共同研究促進のため、機器を共同利用する「地域協働技術センター(仮称)」を設置
- 新たな光応用製品・技術を社会実装・市場拡大

光応用研究の促進

- 特殊光を用いた新しい内視鏡診断と光治療法を開発
- 次世代LED産出装置の開発

推進体制

【官】本事業の主宰者である徳島県 ※ 事業責任者に、経済団体役員や徳島大学経営協議会委員を兼任してきた「西宮阿波銀行相談役」が務める。

【学】国立大で初めて「光」を冠する光応用工科大学を設置した徳島大学、「阿波藍」の化学的な研究に取り組んでいる四国大学、リカレント教育等が盛んな阿南工業高等専門学校と連携

【産】世界で初めて青色LEDの単層化に成功した日亜化学工業(株)や豊富なLED製品開発実績を有する日本ワウ(株)をはじめとするLED関連企業、本県産業界の代表者として県内経済団体、産業界協同組合中央会と連携

【金】支援期間終了後の自主性を確保するため阿波銀行、徳島銀行をはじめとする県内金融機関と連携

KPI

- ① 光産業の生産額の増加額 1,700億円 [H29: 4,500億円 ⇒ 10年後: 6,200億円]
- ② 光産業の雇用者数の増加数 5,300人 [H29: 11,200人 ⇒ 10年後: 16,500人]
- ③ 専門人材育成70%受講生の地元就職・起業数 累計125人 [H29: 一人 ⇒ 10年後: 125人]
- ④ 国際光工学会における教員数あたりの発表数 2.5倍 [H29: 0.01 ⇒ 10年後: 0.025] [参考]東京大0.026、大阪大0.02、名古屋大0.016

いずれも、各同窓会や名誉教授の先生方など、多数ご出席いただき、旧交を深められると同時に、他の同窓会の方とも交流され、盛會に終わりました。

10月11日～19日 徳島大学薬用植物園一般開放を開催



テーマごとに整備された園内の様子。



炭酸入浴剤作製の実演・体験。

毎年恒例の薬用植物園一般開放を開催し、期間中、900名を超える来園者がありました。今回の開放では、研修室におけるテーマ展示として、一閑張りや薬草画の作品を展示するとともに、

アロマオイルやポプリを用いた炭酸入浴剤作製の実演・体験を行いました。薬学部附属薬用植物園では、毎年様々なテーマで一般開放を開催しており、今後も、薬学の発展に資するため、収集、保存、研究、社会貢献活動の充実に努めることとしています。

11月5日 地域継続シンポジウムを開催

徳島県教育会館5階小ホールにて地域継続シンポジウム「いま徳島に必要なことは何かを考える」を開催しました。自治体や企業の防災・危機管理担当者、BCP担当者ら76人が参加し、質疑応答では県への具体的な要望や大学に期待する役割など、前向きな提案が寄せられました。



多くの方が参加。

〔研究成果報告〕

タンパク質結晶を簡単に作製する技術を開発
先端酵素学研究所・疾患プロテオミクス研究分野 准教授 真板 宣夫



統合失調症治療薬創出に向けたチオフェン化合物によるD-アミノ酸酸化酵素阻害機構の解明
先端酵素学研究所・病態システム酵素学分野 准教授 加藤 有介
教授 福井 清



植物ゲノム編集プロトコル「CRISPR/Cas9」による果樹の高効率ゲノム編集
大学院社会産業理工学研究所 生物資源産業学域 准教授 刑部 祐里子



言葉・指差し・視線で対話して操作する自動運転車を開発
大学院社会産業理工学研究所 理工学域 教授 北岡 教英



新規がんワクチン開発ががんモデルマウスで治療成功
大学院医歯薬学研究所 薬学域 特任助教 清水 太郎



徳島大学ガレリア新蔵展示室 第26回 特別展 全国方言資料展

平成31年1月7日(月)～3月15日(金)

徳島大学日本語学研究室(大学院社会産業理工学研究所 社会総合科学域 教授 岸江 信介)では、これまで全国各地で方言調査を実践するとともに、方言に関わる関連資料を収集してきました。このたびの展示では、四国言語地図、徳島県言語地図などのパネルで方言調査結果を紹介するとともに、大きな反響を呼んだ「徳島方言番付表」や全国の方言資料・グッズなども展示します。来場いただいた方には、徳島方言番付のクリアファイルや調査報告書も謹呈いたします。また、左記の要領で記念イベントも開催されます。ぜひご参加ください。

記念イベント
日時：3月3日(日) 14時～16時
①講演会 14時～15時(定員100名)
「全国方言資料からみる地域性」
明海大学 元教授 山下 曉美氏
「近畿西部～中国東部の方言動態について」グロットグラム調査をもとに



甲南大学教授 都染直也氏
「阿波弁のおもしろさ」
徳島大学名誉教授 仙波光明氏
「四国地方における方言研究」
四国大学 山口 有香子氏
②ワークショップ 15時～16時(定員100名)
会場：徳島大学日亜会館2階 講義室
kishie.shinsuke@tokushima-u.ac.jp
ガレリア新蔵展示室(新蔵キャンパス日亜会館1階/徳島市新蔵町2丁目24番地)は、平日9時から17時まで開室しています。一般の方も自由に見学(無料)できますが、来場時には公共交通機関をご利用ください。



Q とくトークの冊子を取り置きしていますが、失くしたものもあります。バックナンバーをお送りいただくことはできますか?
A いつもご愛読いただきありがとうございます。大切に保存していただいているとのことたいへん嬉しく思います。さて、バックナンバーについてはですが、こちらに在庫のある号であればお送りさせていただきます。ご連絡は裏表紙にございます。なお、恐れ入りますが送料だけはご負担いただくことになるかと存じます。また、WEB上では110号以降のとくトーク電子版を公開しております。こちらもご利用下さい。
http://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/toku_talk.html

Ever Researching For a Brighter World
身近なところでNICHIAの製品は活躍しています

日亜化学工業株式会社
徳島県阿南市上中町岡 491 番地
TEL: 0884-22-2311
<http://www.nichia.co.jp/>

ホテルならではの上品な空間と、行き届いたサービス。
ビジネス・観光の拠点としてぜひご利用ください

JR徳島駅直結ホテル
【JRホテルクレメント徳島】
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61
TEL. 088-656-3111

徳島大学 公式Facebook
様々な情報をみなさまにご紹介しています。
<https://www.facebook.com/tokushima.univ/>

HOTEL SUNROUTE TOKUSHIMA

ホテルサンルート徳島
Tel. 088-653-8111
770-0834 徳島市元町1丁目5-1

本館シングル ¥1,020～
本館ダブル ¥11,000～
本館ツイン ¥12,960～
別館ダブル ¥11,500～
別館ツイン ¥12,000～

叙勲 平成30年秋の生存者叙勲を次の方が受章されました。(敬称略)

瑞宝中綬章 鈴木 茂行 徳島大学名誉教授 教育研究功勞	瑞宝双光章 永峰 康孝 元徳島大学医学部・歯学部附属病院診療支援部長 保健衛生功勞
鈴木茂行名誉教授は、電気電子工学分野において、学生の教育及び研究者の育成に努められるとともに、電気機器の特性解析とその応用に関する研究、ロボットに関する基礎研究及び自然エネルギー利用に関する研究に優れた業績をあげ、この分野の研究の進歩に大きく貢献されました。	永峰康孝元診療支援部長は、永年にわたり臨床検査業務、臨床検査に関する教育及び病院の管理運営に精励し、徳島大学医学部・歯学部附属病院の臨床検査の充実に寄与するとともに、地域社会における医療の充実に大いに貢献されました。

Events 徳大行事予定

2019.1.1～2019.3.31

<p>『阿波なかつむぎプロジェクト』フォーラム 日時: 2019年1月27日(日) 場所: 牟岐町海の総合文化センター 問い合わせ先: 大学院医歯薬学研究所 歯学域 尾崎和美 TEL: 088-633-9309 E-Mail: ozaki@tokushima-u.ac.jp</p>	<p>徳島大学病院フォーラム2019春 日時: 2019年3月3日(日) 場所: 大塚講堂(徳島大学蔵本キャンパス) 問い合わせ先: 病院総務課広報・企画係 TEL: 088-633-7463 E-mail: bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp</p>	<p>第15回 徳島大学国際展開推進シンポジウム 日時: 2019年3月5日(火) 場所: 阿波観光ホテル 問い合わせ先: 徳島大学学務部国際課 TEL: 088-656-7491 E-mail: kokukikakuk@tokushima-u.ac.jp</p>
---	--	--